

馬搬技術伝承研修が始まりました

県南広域振興局では、「つながり ともに つくる」を合言葉に部局横断連携による地域振興を進めています。

遠野市は全国有数の馬産地であり、林業の現場においても古くから伝えられてきた馬搬が今も行われています。馬搬は、林地を荒らすことが少ない環境にやさしい搬出技術ですが、近年では市内の二人の馬方が活躍されているものの、今後の技術伝承が大きな課題となっていました。当センターでは、馬搬の後継者を確保・養成するため、地域振興推進費により、馬搬技術伝承事業を実施することとし、5月13日にその主体となる「遠野馬搬振興会」を設立、6月15日に「馬搬技術伝承研修」を開講しました。

研修は、第1部として7月まで7回の予定で森林・林業、馬搬の基礎的な知識についての講義や現地見学を主体した

研修を行い、木材搬出が本格化する10月以降に現場において馬の扱いや馬搬技術の基礎を学ぶ実地研修を行うこととしています。

本事業では研修と並行して、これまで徒弟関係の中で伝承されてきた馬搬技術研修のカリキュラムづくりや馬搬のPRを合わせて行うこととしています。

第1回の研修には、市内から4名が受講され、馬搬技術のみならず地域材の有効活用などについても熱心な質疑応答が行われ、今後の「つながり ともに つくる」の広がり期待が膨らんでいます。



熱心に受講する将来の馬搬を担う後継者